

ビジネススクール「経営塾」を県南地域で開催 ～座学・議論・対話で経営学の基礎体力を高める～

熊本学園大学が株式会社熊本日日新聞社と協働して企画・運営する「経営塾」が、9月20日（火）を皮切りに開講します。

2013(平成25)年3月に熊本県が策定した「くまもと県南フードバレー構想」の1つに「人材育成の強化・推進体制の構築」が提言されています。また、本プログラムを主催するくまもと県南フードバレー推進協議会においても人材育成に取り組んでいます。このプログラムは、大都市圏レベルのビジネススクールをコンパクトな経営塾として提供するもので、実務的な知識にとどまらず、個人の実践レベルに合った経営学を学ぶことを目的としています。昨年度、完全オリジナルプログラムによる「くまもと県南フードバレー 経営塾」を開催し、1期生として11名が受講しました。

本学では、次代を担う未来の経営者・リーダーを対象とした熊本イノベーションスクール「次代舎」を5年にわたって企画・運営しており、このノウハウをいかし、応用したプログラムとなります。また、びぶれすイノベーションスタジオを運営し、自治体のビジネススクール運営の実績も持つ熊本日日新聞社とは、昨年1月に包括連携協定を締結しており、協働して企画・運営にあたります。

座学、議論、対話の3ステップで参加者個人レベルに合った経営学の基礎を学びます。今回は12名が受講予定で、本学商学部の吉川勝広教授（専門：流通論、マーケティング戦略）、水野真実講師（専門：会計学）が講師として、大学院会計専門職研究科の新改敬英准教授（専門：管理会計）がプログラムディレクターとして携わります。

講義日程については別紙の通りです。よろしければお取り上げいただきますよう、ご案内いたします。

※「くまもと県南フードバレー構想」とは、熊本県・県南地域（八代地域、水保・芦北地域、人吉・球磨地域）の豊富な農林水産物をいかし、食関連の研究開発機関や企業等を集積させる「フードバレー」を形成することにより県南地域の活性化をめざすもの。

取材ご希望の方は必ず事前にご一報いただきますようお願いいたします

<くまもと県南フードバレー 「経営塾」>

- 対象 くまもと県南フードバレー協議会正会員のうち、食関連企業の経営に携わる方など
- 受講者 12名
- 講義日程 2022年9月20日（火）～2023年2月中旬 全6回
※詳細は別紙をご覧ください。
- 会場 熊本県農業研究センター アグリシステム総合研究所（八代市鏡町鏡村363）
- 主催 くまもと県南フードバレー推進協議会事務局
- 協力 熊本学園大学、株式会社熊本日日新聞社

本リリースについてのお問合せ

熊本学園大学 広報室 TEL: 096-364-8722 (直通) Mail: koho-kgu@kumagaku.ac.jp

熊本学園大学 プレスリリース等メディア情報一覧

<https://www.kumagaku.ac.jp/news/archives/category/media>



くまもと県南フードバレー 経営塾

開催日	時間	講義内容	講義の概要
第1回 9/20(火)	14:00～ 17:00	開講式／イントロダクション／経営戦略	限られた資源で事業を成長させるための原則について学びます。
第2回 10/21(金)	14:00～ 17:00	経営のための会計	業績向上に貢献する「会計数値」の使い方について学びます。
第3回 11/25(金)	14:00～ 17:00	マーケティングの基本	商品価値のつくり方や顧客選定、販売方法などについて学びます。
第4回 12/21(水)	14:00～ 17:00	商品開発のためのマーケティング実践	具体的な商品開発の方法論を、ワークショップを通して学びます。
第5回 1/25(水)	14:00～ 17:00	販売促進のためのマーケティング実践	商品を買ってもらうための顧客接点のつくり方について学びます。
第6回 2月中旬 (調整中)	14:00～ 17:00	最終発表／閉講式	受講生による新商品や販売促進プランの発表と閉講式を行います。

※新型コロナウイルス感染拡大の状況によりオンラインでの講座開催となる場合があります。